



No.1 Noodle Restaurant Company
証券コード:9900

味之郷

りん

第48期 上半期報告書 | 2017年4月1日～2017年9月30日





2017年12月

代表取締役会長兼最高経営責任者（CEO）**鎌田 敏行**

代表取締役社長兼最高執行責任者（COO）**伊藤 修二**

平素は格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。
第48期上半期のご報告にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

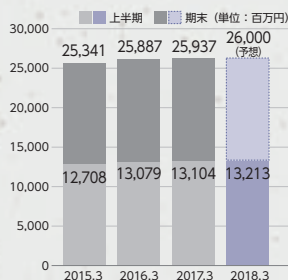
わが国経済は、継続的な政府の経済政策や日銀の金融緩和策によって、回復基調で推移いたしました。しかしながら、株式市況こそは活況を呈しているものの、今年度の春闘賃上げ率は昨年並みに留まったうえ、夏季賞与はマイナスで推移するなど、依然として消費環境に改善が見られない状態が続いております。

外食産業におきましても、継続的な採用難による人件費の上昇等に加え、業種・業態の垣根を越えた顧客獲得競争も激しさを増しており、厳しい経営環境が続いております。

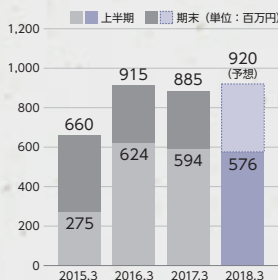
このような環境下ではありましたが、当社ではお客様起点の視座をグループ全社で堅持しながら店舗の改革を進めると共に、グループビジョンである「No.1 Noodle Restaurant Company」を共有し、「事業基盤の強化」「収益性の向上」「成長戦略の推進」を柱に取り組んだ結果、上半期は計画を上回る業績となりました。

本紙面は、その間の取り組み内容をご紹介しますので、ご高覧いただければ幸いです。

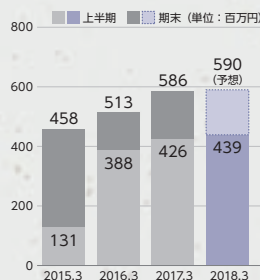
✓ 連結売上高



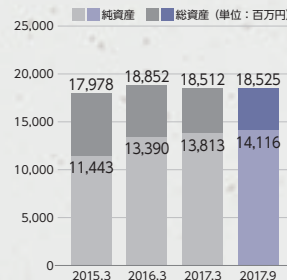
✓ 連結経常利益



✓ 親会社株主に帰属する 四半期 (当期) 純利益



✓ 連結純資産・連結総資産



更なる経営の迅速化を推進

社長就任後の振り返り

【Q1】 社長就任後、最初の上半期が過ぎましたが、率直な感想をお聞かせください。

本年度は、当社グループにとって東証・名証一部上場20周年を迎えた節目の年であり、また、経営の迅速化を目的に、経営と執行の役割分担を明確にし、鎌田代表取締役会長 兼 最高経営責任者（CEO）と私の2名体制で経営を行っていく最初の年であります。

グループビジョンである「No.1 Noodle Restaurant Company」の実現に向けて改革のスピードを上げていくなか、今年7月に実施した東証・名証一部上場20周年記念レセプションにて、将来ビジョンの発表を行いました。店舗数500店舗、売上高400億円、経常利益30億円、FC比率20%、海外出店国数10ヶ国を早期達成するよう取り組みを進めております。更に、経営の迅速化を推進するためには、本社機能と商品開発機能の一体化が必要であると考え、本社の移転計画も進めております。

外食産業においては、労働需給の逼迫による人員不足、人件費の上昇、諸経費の負担増など、今後の成長に向け、多くの課題を抱えている状況でございます。そのような環境下において、当社グループは、鎌田代表取締役会長と私が一枚岩となり経営を進めてまいりました。そのなかで私は積極的に営業店舗を臨店し、現場の生の声を聴き上半期の経営判断を行いました。

今後も、経済状況の目まぐるしい変化をいち早く把握するために、営業店舗へ直接足を運び、経営課題の早期発見、解消を進めてまいります。



上半期の業績振り返り

【Q2】 上半期の業績についてお聞かせください。

2018年3月期第2四半期連結業績は、以下のようになりました。

第2四半期連結業績

(単位:百万円)

	実績値	計画値	計画比 (%)
売上高	13,213	13,000	101
営業利益	536	480	111
経常利益	576	505	114
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	439	330	133



売上高、利益共に、計画値を上回る推移となりましたが、これは、うなぎや釜めしなどの季節限定メニューがお客様の評価を受けており、主力業態である「和食麺処サガミ」と「味の民芸」が堅調に推移したことが主要因です。「味の民芸」については、既存店売上高が44ヶ月連続（2017年10月末時点）で前年同月実績を上回るなど、多くのお客様からご支持をいただくことができました。

また、株価については、本年8月に20年ぶりとなる1,500円台をつけており企業業績に合わせて順調に回復しつつあります。

経営の改善・改革

【Q3】中期経営計画の進捗はいかがですか。

新中期経営計画の3つの柱として、「事業基盤の強化」「収益性の向上」「成長戦略の推進」を掲げております。

「事業基盤の強化」については、今後の出店に備え、今年度新たに採用した23名の新入社員に加え、来年度に向けた採用活動を強化しております。先日、さがみ庭キャスルプラザ店にて開催した内定式には、昨年実績（9名）を大幅に上回る19名が参加いたしました。採用活動を強化すると共に、次世代経営人材育成のため、教育・研修には今後もより一層、力を入れ取り組んでまいります。

「収益性の向上」については、一部食材価格の高騰が懸念されるなか世界各国からの直接仕入れの仕組み構築に向け取り組みを進めております。すでに、当社グループのメイン商材であるそば粉や鶏肉の直接仕入れを開始しておりますが、10月よりアメリカの大手食肉加工会社と契約を結んだことで、



豚肉についても直輸入を開始することができました。今後も、国内のみならず、世界各国からの仕入れを検討し、商品の品質向上やコスト削減に繋げてまいります。

「成長戦略の推進」については、主力業態の出店をテーマとして掲げており、10月に9年ぶりとなる「和食麺処サガミ」を岐阜県関市に出店いたしました。今後は、「和食麺処サガミ」の出店を加速しつつ、「味の民芸」の出店も進めてまいります。

海外への取り組み

【Q4】海外出店への取り組みをお聞かせください。

海外の取り組みでは、今年度は現在出店している各国での事業基盤の構築への取り組みを強化すると共に、重点出店地域と位置付けているASEANの一員であるベトナムにおいて、そばを主力メニューとする「和食麺処サガミ」の出店候補地の検討を進めております。

また、イタリアのミラノ市内に長期実験店舗として出店している「SAGAMI ミラノ店」の営業状況を十分に検討、判断したうえで、欧州での店舗展開も視野に入れ取り組みを進めてまいります。

健康メニュー・ブランド化への取り組み

【Q5】 サガミグループのブランド化への取り組みについてお聞かせください。

当社グループは、“The Healthy-menu Company”を標榜しており、高まる健康志向に対応できるよう減塩メニューや、ルチン含有量に優れた韃靼そばを使用したメニューなどを新たに投入してまいりました。それらのメニューの累計販売数が20万食（2016年4月～2017年10月末）を突破いたしました。今後も引き続き、健康価値に優れたメニューの開発・販売に取り組んでまいります。

ブランド力の強化には、知名度向上は欠かすことができません。当社グループでは、様々なイベントに参加しており、6月に名古屋で開催された「第4回手羽先サミット」で、サガミのプレミアム手羽先が、グランプリに輝きました。また、新たな取り組みとして新規出店の際に地域の方々を招いた試食会を実施いたしました。今後も、地域に根付いた営業を進めるための取り組みを継続してまいります。

株主様や投資家の皆様から直接ご意見をいただける場として、IR活動にも力を入れております。7月に開催された名証IRエキスポにおきましては、多数の株主様や投資家の皆様から直接ご意見をいただくことができました。関東圏においての知名度は、依然として強化が必要と認識しており、知名度向上

のため、関東圏を中心とした個人投資家説明会も随時実施しております。

株主の皆様へ

【Q6】 改めて株主の皆様メッセージをお願いします。

国内を取り巻く環境は、人口減少や高齢化、異業種との競争など、依然として厳しい環境が続くものと予測され、今後、外食業界における合従連衡も起こりうるものと想定しております。このような環境の下でも競争に勝ち残っていくために、当社グループは、お客様起点の視座を堅持しながら、グループビジョンである「No.1 Noodle Restaurant Company」の実現に取り組んでまいります。

上半期業績につきましては、計画値を上回ることができましたが、取り組まなければならない課題はまだありますので、事業環境、将来性、グループ状況などをしっかりと見据え、柔軟かつ着実に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては今後ともご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



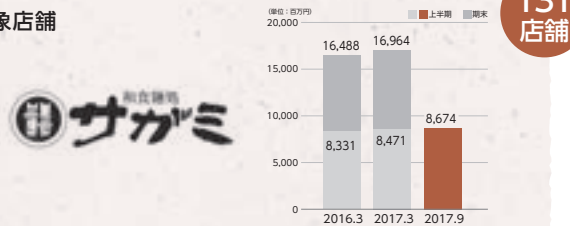
部門別外食事業の状況

和食麺類部門

8,674 百万円 **65.6%**

和食麺類部門では、当社主力業態である「和食麺処サガミ」において、全店販売促進企画として「お客様大感謝祭」を1回実施し、「料理フェア」を4回実施したほか、「クーポン券配布企画」を2回実施いたしました。また「こだわりテレビCM」を愛知県・三重県・岐阜県・富山県・滋賀県・静岡県で2回、奈良県で1回放映いたしました。これにより既存店売上高は前年同一期間に対して1.5%増となり、客単価が前年同一期間に対して2.0%増、既存店客数は前年同一期間に対して0.5%減となりました。

■対象店舗



どんどん庵部門

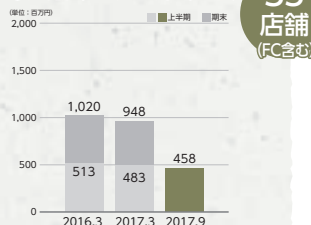
458 百万円 **3.5%**

どんどん庵部門では、全店販売促進企画として「料理フェア」を4回実施したほか、「どんどん祭」を1回実施いたしました。

特に季節メニューは好評を博しており、客単価上昇に繋がっております。

また、今期は新たな「販売チャンネルの拡大」をテーマにかつ丼などのテイクアウト売上の販売強化に取り組んでおります。

■対象店舗



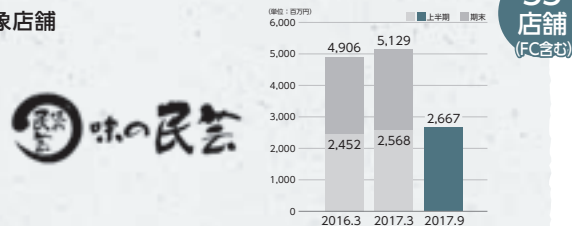
味の民芸部門

2,667 百万円 **20.2%**

味の民芸部門では、全店販売促進企画として「お客様大感謝祭」を2回実施し、「料理フェア」を5回実施したほか、「クーポン券配布企画」を5回実施いたしました。

既存店における売上高が前年同月実績を上回るなど好調に推移しております。(2017年10月末時点で44ヶ月連続更新中)

■対象店舗



その他の部門

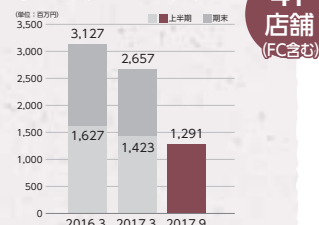
1,291 百万円 **9.8%**

その他の部門では、団樂食堂「あいそ家」において、「料理フェア」を4回、「クーポン券配布企画」を4回実施したほか、大型セルフうどん店「製麺大学」においては、「料理フェア」を4回、「割引券配布企画」を1回実施いたしました。

国内店舗関係では、「びんむぎセレクト王子店」(9月)を出店いたしました。一方で、「さがみ庭御器所店」(5月)を閉鎖いたしました。

海外店舗関係では、「SAGAMI Silom Complex店」(9月)を閉鎖いたしました。

■対象店舗

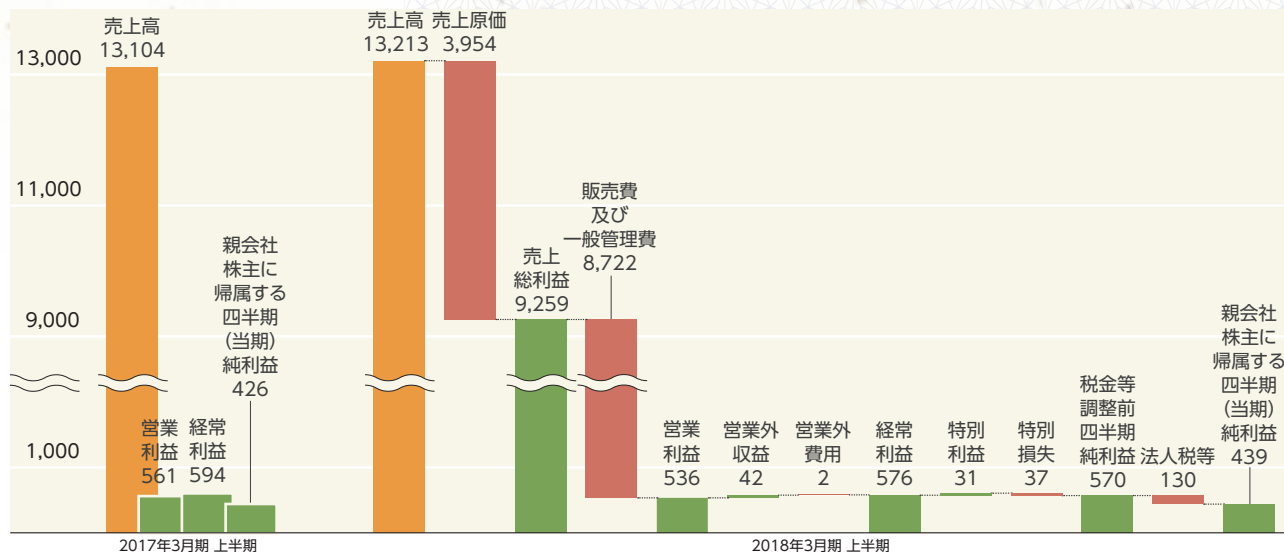




連結財務諸表 (要約)

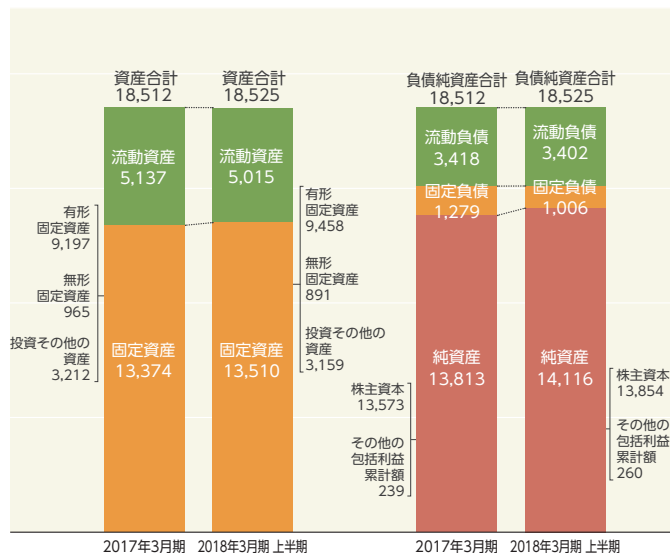
■ 連結損益計算書

(単位：百万円)



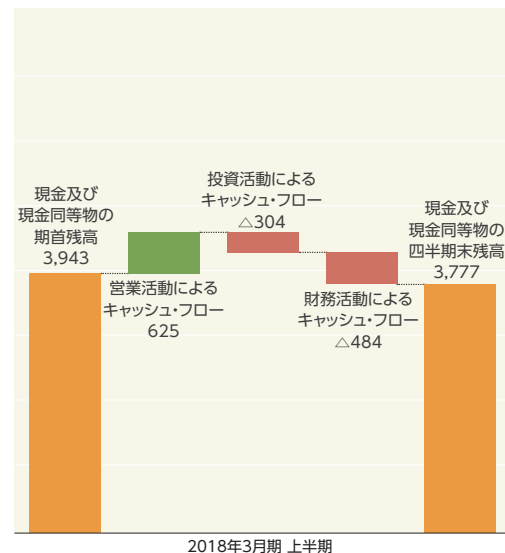
■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)



■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)



※百万円以下は切り捨てております。

TOPICS

1

和食麵処サガミ 関マーゴ店オープン

2017年10月28日、岐阜県関市倉知の複合ショッピングセンターの「マーゴ ウエスト」内に「和食麵処サガミ 関マーゴ店」をグランドオープンいたしました。当社は、既存店の収益力向上に注力するために、2008年の出店以降、主力業態である「和食麵処サガミ」の新規出店を見合わせておりましたが、店舗段階で全店黒字化した他、既存店売上も好調に推移していることから出店を再開いたしました。ロードサイドのサガミとしては9年ぶりの新規オープンであり、132店舗目の出店となります。今回の出店を皮切りに、12月には「和食麵処サガミ 岐阜北一色店」、来年には「和食麵処サガミ 豊川店」の出店が決定しております。今後も東海地方および関東地方を重点出店地域として、「和食麵処サガミ」以外の業態も含め両地域を中心にスピードを上げ、将来ビジョンである店舗数500店舗達成に向けて取り組みを進めてまいります。

近隣にお越しの際には、是非ご来店くださいませ。



TOPICS

2

第4回手羽先サミット グランプリ受賞

2017年6月9日、10日、11日に開催されました第4回手羽先サミットにおきまして、見事グランプリを獲得することが出来ました。

本年度は会場を久屋大通公園に移し、来場者数も過去最高の12万人（主催者発表）となる中、28店舗の強豪がひしめき合い例年以上の激戦が繰り広げられました。今回プレミアム手羽先の販売の他、目玉商品として、サガミオリジナル『七面鳥の手羽先』の開発を進め販売いたしました。七面鳥の手羽先は、流通量も少ないためアメリカ大使館を通じ、アメリカ家禽鶏卵輸出協会、商社を経由し食材を確保し、肉質の硬さを和らげるための試作を繰り返ようやく商品化へと至りました。通常店舗で販売している手羽先の約10倍の大きさということで、多くのメディアに取り上げられ、3日間とも1時間足らずで完売となる盛況ぶりでした。





■会社概要

商 号	株式会社サガミチェーン
設 立 年 月 日	1970年(昭和45年) 3月4日
資 本 金	7,178,109,149円
従 業 員 数	568名
本 社	名古屋市守山区森孝一丁目1709番地
店 舗 数	262店舗
グ ル ー プ 企 業	味の民芸フードサービス株式会社 株式会社ディー・ディー・エー 株式会社サガミフード 株式会社サガミマイスターズ 株式会社サガミマネジメントサポート サガミインターナショナル株式会社 SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD. BANGKOK SAGAMI CO.,LTD. NADEERA GLOBAL CO.,LTD. VIETNAM SAGAMI JOINT STOCK COMPANY

■役 員

代表取締役会長
兼最高経営責任者 (CEO) 鎌 田 敏 行

代表取締役社長
兼最高執行責任者 (COO) 伊 藤 修 二

取締役専務執行役員 伊 垣 政 利

取締役常務執行役員 大 西 尚 真

取締役執行役員 長谷川 喜 昭

取締役執行役員 鷺 津 年 春

取 締 役 千 住 憲 夫 (社外)

取 締 役 遠 藤 良 治 (社外)

常 勤 監 査 役 長 屋 昇

監 査 役 神 谷 俊 一 (社外)

監 査 役 福 井 秀 剛 (社外)

- (注) 1. 取締役 千住憲夫および遠藤良治の両氏は、「会社法」第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 監査役 神谷俊一および福井秀剛の両氏は、「会社法」第2条第16号および第335条第3項に定める社外監査役であります。

■株式情報

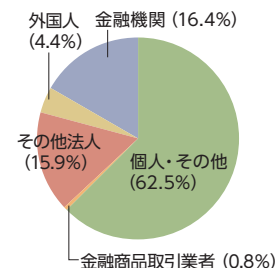
1 発行可能株式総数	74,630,000株
2 発行済株式総数	26,501,784株
3 株主数	15,226名
4 大株主	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
昭和産業株式会社	1,194	4.50
アサヒビール株式会社	1,032	3.89
株式会社愛知銀行	923	3.48
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	460	1.73
岩月 康之	450	1.69
株式会社昭和	433	1.63
サガミ共栄会	414	1.56
第一生命保険株式会社	399	1.50
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	377	1.42
大嶋つき子	375	1.41
合 計	6,061	22.87

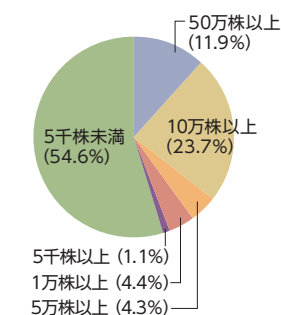
- (注) 1. 持株比率は自己株式を控除して算出しております。
2. 当社は、自己株式として15,666株を所有しております。
3. 株式給付信託(BBT)導入のため設定した資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有する当社株式133,600株は上記自己株式に含まれておりません。

⑤ 株式分布状況

①所有者別分布



②所有株式数別分布



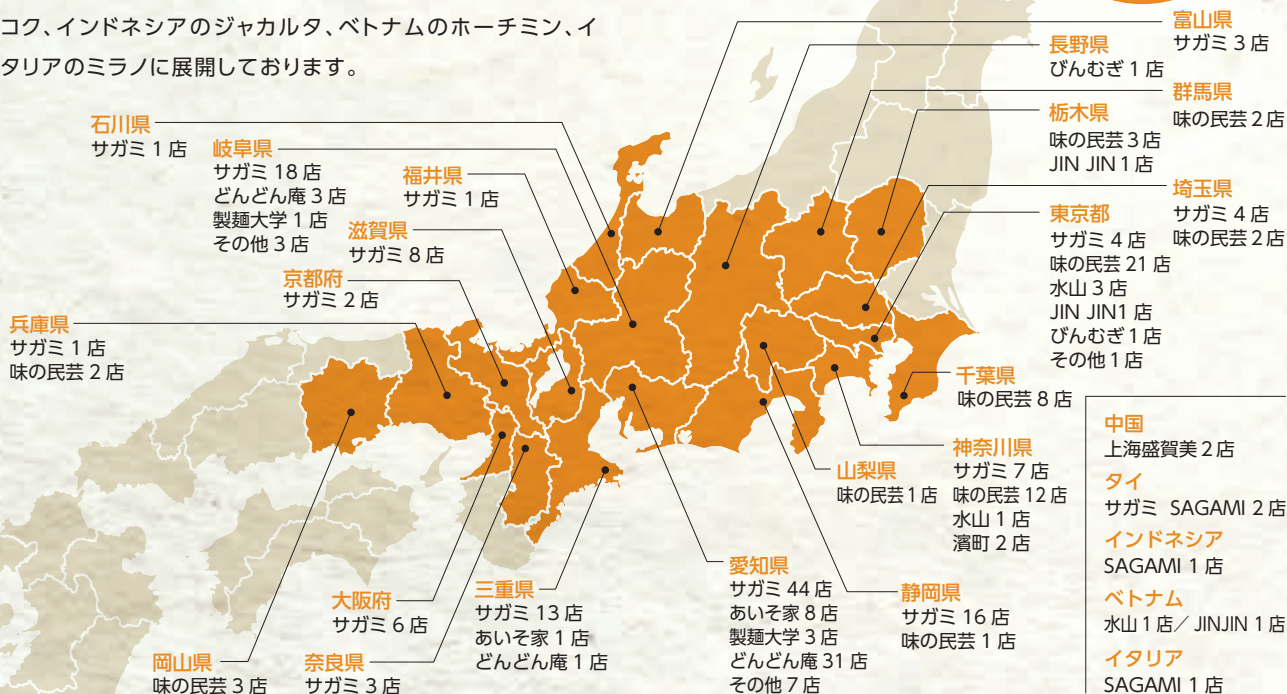
店舗ネットワーク

(2017年9月30日現在)

当社グループは、「和食麺処 サガミ」「味の民芸」「あいそ家」「どんどん庵」「水山」「製麺大学」「サガミ村」「さがみ庭」「びんむぎ」「JINJIN」「濱町」「健やか食堂」「DelaPASTA Kitchen」「かつたに」「SAGAMI」を展開しております。また海外はタイ王国のバンコク、インドネシアのジャカルタ、ベトナムのホーチミン、イタリアのミラノに展開しております。



合計
262
店舗



新店舗情報 「びんむぎセレオ八王子店」

2017年9月にJR八王子駅ビル「セレオ」9階に開店いたしました。
「びんむぎ」は手延べうどんの専門店で、軽井沢店に次ぐ 2 号店となります。
軽井沢店の人気商品「酸辣スープうどん」や「黒浅間」の他に、じゃがいもクリームをうどんの一面に盛り付けた「白浅間」など八王子店オリジナルのメニューを取り揃えております。



黒浅間



白浅間

和食麺処 サガミ 131店舗

和食の原点とも言えるそば、うどんのおいしさを中心にして独自のチェーン展開を行ってきた「サガミ」。より気軽に、楽しく「和」のおいしさを味わって戴くため私たちが選んだのは、全店直営というスタイル。それは経営思想はもちろん、私たちが目指す最大限のおもてなしを、店舗運営の隅々にまで行き届かせるためのもの。もちろんそこに確立されているのは、店舗のデザインに始まり、接客スタイル、メニュー構成、営業時間にいたるまで、すべてはお客様の声に応え、より喜ばれるために築き上げてきた有形、無形の「サガミ」らしさの集積です。



味の民芸

55店舗

首都圏を中心に店舗展開をしております。伝統の製法「手延べうどん」と和食の原点「手づくりだし」のおいしさを民芸の心あふれるくつろぎ空間でお楽しみ戴けます。



あいそ家

9店舗

カジュアルなお店がコンセプト。毎日でも来店して戴けるお店、家庭の食卓と同じ感覚で利用してもらえるお店・・・そんな身近なお店をイメージしております。



どんどん庵

35店舗

セルフ方式の麺類店を展開しております。メニューは「うどん」「きしめん」「そば」「丼」を中心に「天ぷら」や「おにぎり」などをご用意しております。一部店舗においては、あなかパグетティの提供や、夜限定でちょい呑み処「どん呑み」を営業しております。



とんかつ専門店「かつたに」

1店舗

サガミグループプロデュースのとんかつ専門店。こだわりのとんかつをお手頃な価格で提供しており、名古屋のとんかつ屋を目指し、味噌かつ丼、鉄板味噌コース定食が好評を博しております。また、お持ち帰り専用メニューも多数ご用意しております。



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月下旬

配当金受領株主確定日 期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日

基準日 定時株主総会関係 毎年3月31日
その他必要がある場合は、あらかじめ
公告いたします。

公告方法 電子公告
事故その他やむを得ない事由によって
電子公告による公告ができない場合は、
日本経済新聞に掲載いたします。

上場金融商品取引所 東京証券取引所 市場第一部
名古屋証券取引所 市場第一部

**インターネット
ホームページ** <http://www.sagami.co.jp/>

**株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒460-8685
名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

**郵便物送付先
及び電話照会先** 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (通話料無料)

○お知らせ

2017年12月8日より、株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関は、三菱UFJ信託銀行株式会社から三井住友信託銀行株式会社に変更となります。12月8日以降、特別口座に記録された株式について、単元未満株式の買取のご請求、証券会社に開設された口座への振替をご希望される株主様は、三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

株主優待のご案内

- ・1,000株以上保有の株主様※1
年間3万円分(消費税を含む)の株主優待食事券
(1万5千円を年2回)を贈呈
- ・500株以上1,000株未満保有の株主様※2
20%割引券を年間10枚(5枚を年2回)贈呈
- ・100株以上500株未満保有の株主様※2
20%割引券を年間4枚(2枚を年2回)贈呈



【権利確定日】毎年3月31日、9月30日

【発送予定】毎年6月下旬、12月中旬

- ※1. 1回の利用額に制限がなく、「サガミ」「味の民芸」「あいそ家」「どんどん庵」「水山」「製麺大学」「サガミ村」「SAGAMI」「さがみ庭」「ごちたく」「びんむぎ」「JINJIN」「Dela PASTA Kitchen」「濱町」「健やか食堂」「かつたに」「蕎麦工房 サガミ」にてご利用いただけます。
- ※2. 1枚につき、割引上限金額は3,000円(税込)となります。株主優待券を含む他の券との併用はできません。ご飲食代金にのみご利用いただけます。「どんどん庵」「水山」「製麺大学」「JINJIN」「サガミ村」「Dela PASTA Kitchen」「びんむぎ」「健やか食堂」「かつたに」においては、20%割引ではなく、お一人100円(税込)割引とさせていただきます、1枚で4名様までご利用いただけます。

株式会社サガミチェーン

〒463-8535 名古屋市中区森孝一丁目1709番地
電話 (052) 771-2126

